

鳥獣保護管理プランナー

岸本 康誉

対象鳥獣
ニホンジカ

活動地域
愛媛県

株式会社野生動物保護管理事務所

《東京都第001号認定鳥獣捕獲等事業者》

事業内容

指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）調査等委託業務

事業の背景

愛媛県では、シカを対象に第二種特定鳥獣管理計画を策定しており、目標達成に向けて、個体群管理の強化が必要とされていた。地域によっては森林への被害が顕在化し、分布域も拡大している中で、指定管理鳥獣捕獲等事業を実施し、集中的に対策を実施すべき地域の選定や捕獲目標の設定、事業評価の方法や管理方針の見直しまでの一連の作業の支援が必要とされていた。

依頼を受けて実施した内容

シカの糞塊密度や捕獲のデータをもとに、階層ベイズモデルによる個体数等を推定し、県域と狩猟メッシュ単位での生息状況を把握した。森林下層植生の衰退度調査等の結果も踏まえて、指定管理鳥獣捕獲等事業の実施場所を選定するとともに、捕獲目標等を定めた計画案を作成した。捕獲等事業の結果を受けて、事業の評価を行い、より効率的・効果的な事業への見直しの提案を行った。

事業の成果

階層ベイズモデルによる個体数推定や森林下層植生衰退度の調査結果との関係の解析等により、重点的に捕獲事業を進めていくべき地域が選定された。また、地域ごとに、生息数の削減に必要な捕獲数や捕獲努力量が計算され、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に定められた。さらに、事業の効果検証の結果、石鎚山山系周辺では、捕獲効率を向上させるために効果的な捕獲事業を展開する必要性が明らかとなり、新たな事業計画の提案を行った。

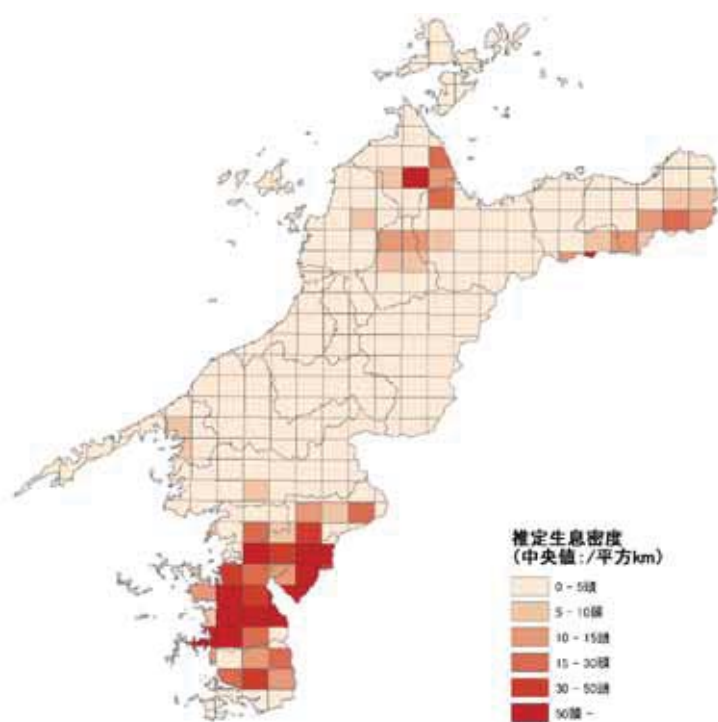


図1：愛媛県内における狩猟メッシュ単位のシカの個体数推定結果

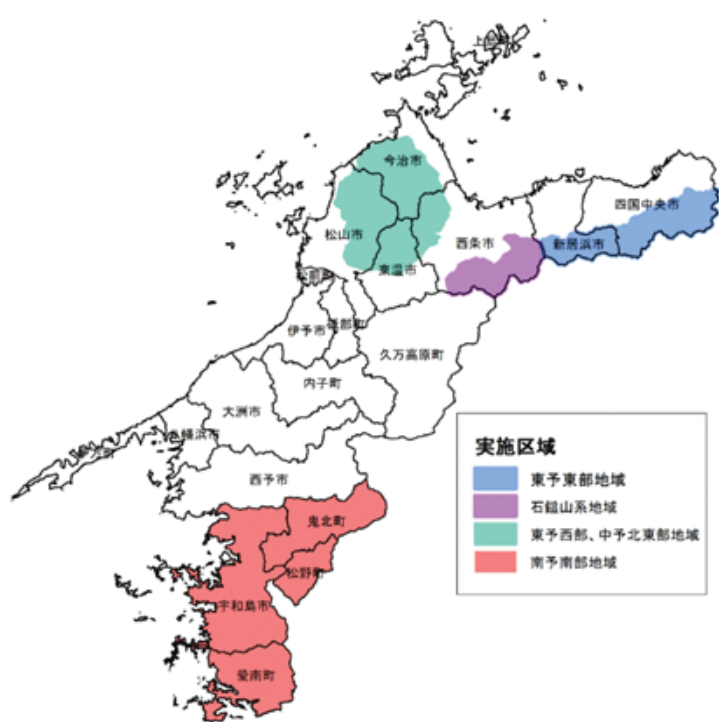


図2：現地調査と分析結果から選定した指定管理鳥獣捕獲等事業の実施区域案

鳥獣保護管理プランナーには、地域の状況に応じて、科学的な根拠に基づいた計画策定支援と順応的な対応方針の提案が必要とされるため、継続的に課題を整理し、より効率的・効果的に事業が進むように、サポートしていきたい。